現代のことば

浜田（はまだ）　きよ子（こ）

苗プロジェクト

10月下旬、私たちは震災後はじめて宮城に行きました。南三陸町歌津で支援を続けている友人のAさんが、「こちらで介護の相談をしてくださったら」と私たちを誘ってくれたのです。

Aさんは仙台から歌津へ向かう車中でいろいろなことを話してくれました。3月下旬に彼が初めてここに来たときに、必要なものを聞いたら「新鮮な野菜」って言われたので、自分の畑で採れた野菜をたくさん持っていったそうです。でもその次には「たくさんは食べきれないし、傷むから困る。毎日欲しい」って言われて、結局苗と堆肥を持って行って一緒に植えたのです。「そのときだけでなく、明日につながるようなことが大切なのだ」とあらためて気づいたと彼は言います。

会場に「遅れまいと自動車を飛ばしてきたよ」と言いながら入ってきたBさんは、いま仮設住宅で暮らしています。介護の話をしたり、同行した友人の作業療法士と体操をしたりするうちに、私たちはすっかりうちとけて、「後で仮設住宅に来て」と言われました。そこでAさんたちが苗を植えた畑を見て、その後で伺うことにしました。

Aさんが運んだ苗は数十か所の小さな畑で立派に育ち、白菜や大根はもういつでも収穫できる状態でした。「いい出来でしょう。この野菜を出荷しようかな」と笑いながら言う人もいました。

畑から仮設住宅に着いたのは日も沈みかけたころで、先ほど別れたBさんが飛んできて、「よかったらうちに上がって」と言ってくださいました。部屋の奥には小さな位牌がありました。入院中に津波にのまれて、まだ見つかっていない義母さんだそうです。「あの日は朝から私も病院にいてね、でも義母が『早く帰り』って言うものだから…」と言ってBさんはうつむきます。「義母はなかなか見つからないのです。それに供養もちゃんとできていなくて」と言いながら彼女は涙ぐんでいました。

同行した友人が「僕は僧侶ですからお経をつとめさせてください」と言って位牌の前に座りました。お経をあげる友人の声が後ろに座る私のお腹に響いて、身体がふんわりしてきます。お目にかかったことのないBさんのお義母さんのことを思いながら私は手を合わせて祈っていました。

友人の声がやみ、彼が頭を上げたとき、Bさんは目を真っ赤にして「こんなふうにしていただいて。やっと気持ちが落ち着きました」と何度も頭を下げておられました。

人を弔う祈りは亡くなった人を悼むだけではなく、生きている人たちのいまを支える。そしてそれは、こうしてたまたま出会った私たちとその人たちをつなぐものにもなりました。私は祈りをこんなに身近に感じたことはありません。

祈ることも、そして明日に向けて苗を植えることも、いまを生きる人々の暮らしを支えている。支援というのは人の生きる暮らしのなかにこそあるのだと気づかされた思いでした。

（高齢生活研究所長、排泄用具の情報館「むつき庵」所長）

＊＊＊ 特別講習会のお知らせ ＊＊＊

２０１１年１２月１６日（金）～１７日（土）
池松　民朗氏　特別講習会

昨年 12 月に特別講習会の講師としてご指導いただきました池松民朗氏による、第2弾の講習会です。
大地をしっかり踏みしめている足、からだのバランス、からだの不思議……、足は身体を支える重要なところ。身体、とりわけ足について、総合的な視点から講義していただきます。和やかな雰囲気のなかで、楽しく学びましょう。

講　師：池松　民朗氏　（ボディーバランスクリニック院長）
テーマ：「歩くこと、立つこと、そして、靴の関係」
日　時：2011 年 12 月 16 日（金）、17 日（土）　両日 10 時～17 時
会　場：京都社会福祉会館　3階　第3会議室
定　員：35 名
受講料：15,000 円

２０１２年１月１０日（火）
林　佳永氏　特別講習会

新年の第 1 回特別講習会として、長年、訪問看護ステーションで仕事をされている林佳永さんを講師にお迎えします。
よいはいせつケアには、適切なスキンケアが重要です。また、おむつを使用している方は、スキントラブルを起こしがちです。そこで、スキンケアのポイントとスキントラブルへの対応などを、事例を交えながら講義していただきます。

講　師：林　佳永氏　（介護・福祉お助け隊所属　オムツフィッター1 級　1 期生）
テーマ：「スキンケアと快適なはいせつ環境」
日　時：平成 24 年 1 月 10 日（火）　10 時～17 時
会　場：京都社会福祉会館　1階　第1会議室
定　員：45 名
受講料：5,000 円

お申込・お問い合わせはむつき庵まで、お願いいたします。
一人でも多くの方々のご参加をお待ちしています。
※なお、両講習会ともにお申込みをすでに開始しています。受講していただけます人数に限りがございますので、早めにお申し込みをお願い申し上げます。